

## 社会調査士資格について

### 社会調査士資格とは？

- 社会調査の専門家
- 「一般社団法人社会調査協会」が発行する資格。国家資格ではないが、法政大学社会学部だけの資格でもない。
- 参加大学 約200校
- 資格取得者数 約31,000人
- 社会学部の中核をなすプログラムのひとつ

### スキルはどんな役に立つの？

- 社会調査関連の民間企業（シンクタンクなど）
- 公務員（地方公務員、国家公務員、国際公務員）
- 企画や広報関連の民間企業（マーケティング、マスコミ、アナライズなど）
- 一般の民間企業

### スキルは本当に必要なの？

- データを使ってエビデンスを示すことが求められる社会
- 将来、法政大学社会学部の卒業生は、どんな仕事をしていくうえでも、何らかの調査データに触れる可能性が高い
- 社会調査の正しい読み方、使い方を知っていることの重要性
- 社会調査について学んでいくことで、**根拠をもって説得的に議論する方法（ロジック）**が身につく
- 就職活動などで、「社会学部で何を学んだの？」という質問に答えを提供する（法政大学では、「キャンディデイト」申請は実施していません）

### 資格のための履修科目

- 合計6つの科目（A, B, C, D, E or F, G）
- 「社会調査実習」と「調査研究法」は、同じ先生のものと同時に履修する。
- 毎年、通常4つの実習を開講（2020年度は3つ）

法政社会学部での科目名	社会調査協会標準カリキュラム	カリキュラム上の位置づけ
社会調査入門	A: 社会調査の基本的事項に関する科目	入門科目
社会調査の方法	B: 調査設計と実施技法に関する科目	学科共通基礎科目
社会調査のリテラシー	C: 基本的な資料とデータの分析に関する科目	学科共通基礎科目
統計調査法	D: 社会調査に必要な統計学に関する科目	学科共通発展科目
調査研究法		
調査研究法A	E: 量的データ解析の方法に関する科目	学科共通発展科目
調査研究法B	F: 質的な分析の方法に関する科目	学科共通発展科目
社会調査実習	G: 社会調査の実習を中心とする科目	学科共通発展科目

### 履修上のアドバイス

- 「社会調査実習」（G科目）は、3年生だけでなく、2年生でも、履修することができます。
- 「統計調査法」（D科目）は「社会調査のリテラシー」（C科目）より専門的なので、できるだけ先に「社会調査のリテラシー」（C科目）を取っておくこと。

### 社会調査実習の担当教員

- 池田寛二（農業・食・環境）
- 田嶋淳子（国際移住・外国人コミュニティ）
- 齋藤友里子（公平さ、公共性）
- 中筋直哉（グローバル時代のローカル性・ネットワーク）
- 堀川三郎（都市・町並み保存・環境）
- 三井さよ（ケア・市民活動）
- 樋口明彦（若者・地域コミュニティ）
- 堅田香緒里（福祉・ホームレス・ジェンダー）
- 多喜弘文（教育・労働・格差）

### 私たちが育てたい人材像！

- 社会学を知る
- データに基づいてロジックを構築する
- いい卒業論文を書く
- 社会に出て、そのスキルをフルに活用する

→参加を待っています！